



對支通信事業調查會

電務局外國電信課

滿支情報 第一一九號 (一一、一、一〇)

滿洲にて廣告放送開始

滿洲電信電話會社にては十一月一日より廣告放送業務を開始し其滿洲國に於ける取扱を滿洲弘報協會に委託せり (一〇、三〇滿日)

新義、虎林兩線の營業開始

新義線の新立屯、海州間及虎林線の虎林密山間鐵道は十一月十日より假營業開始 (一〇、三〇滿日)

冀察政務委員任命

冀察政務委員會委員に章士釗 (法制委員會主席) 及鄧哲熙 (同會主席前任者) 任命の件十月二十日行政院會議を通過す (一〇、二七大公報)

全國各地に國貨公司普設

國民經濟建設運動委員會の總會を十月二十六日南京に於て開會、實業部長吳鼎昌議長席に就き全國手工業品展覽會開催の件を議決し、次で (一) 全國に國貨公司普設計畫の要綱を議決し、國貨産銷協會と協力して實施すること並に經費は政府と商工業者の共同負擔となすことに決定

61

(二) 農村救済のため主要なる副業を奨励補助する件及紡績工業救済の件を議決せり (一〇、二一大公報)

日本電力聯盟の投資

天津電業公司の資本提携は興中公司二百萬圓、天津市政府二百萬圓と各半額宛負擔することとなり居るに對し日本電力聯盟の五大會社が各社にて四十萬圓宛引受くることとなるべしといふ (一〇、一九大公報)

日本の北支調査

商工省の松本彌三郎課長及技師の一行十一月初旬來津の豫定、農林省寺尾博士一行九名の棉花改良視察團は十月二十三日來津尙同省山林局三浦課長、蓄産課技師等四名は二十五日來津、先着の小平經濟部長と合同して一般農業經營及農産品の内外市場との關係等に付調査を行ふ由 (一〇、二五申報)

白耳義資本のガラス會社買收

北支最大のガラス製造會社耀華公司は日本の旭硝子會社と譲渡の交渉中なりし處資本金二百五十萬圓の内白耳義人出資額 (資本の二分の一) を日本側に譲渡し支那人の所有株は其儘として經營することに十月十九日の株主總會に於て決議せり (一〇、二〇大公報)